

JA自己改革の取組み

2026.1 Vol.6



笑顔いっぱいの「ありがとう」のために
For Your Smiles, For Your Thanks,

 **JA利根沼田**

〒378-0053 群馬県沼田市東原新町1940-1
TEL.0278-22-6633 / FAX.0278-22-6666





農業者の 所得増大

組合長が地元野菜をPR

組合長をはじめとするJA利根沼田やJA全農ぐんま、ぐんま県央青果の関係者らが利根沼田産野菜のトップセールスを行いました。特産品でもあるトマトやレタスなどが並び、地元野菜の魅力を改めて発信しました。



各直売所でイベント開催

利根沼田農産物直売所は、沼田市のわらべフェスタ柳波まつりに合わせて感謝祭を開催しました。会場ではしらたきを使った「しらたきサラダ」の試食を行い、来場者に価格が低迷しているコンニャクの消費拡大を呼びかけました。



豆王PR動画を撮影

動画クリエイターのバヤシさんと協力し利根沼田ブランドエダマメ「豆王」のPR動画の撮影を行いました。撮影では、バヤシさんが収穫から試食までを体験し豆王の魅力をPRしました。撮影された動画はバヤシさんのYouTubeチャンネルやTikTok、Instagramで配信中です。

農業生産の 拡大

規格確認で差別化と有利販売を目指す

トマト部会は、目ぞろえ会を開き出荷規格や注意事項の確認、利根沼田農業事務所による高温・病害虫対策の説明を行いました。白沢トマトセンターからは「夏美人」、片品トマトセンターからは「尾瀬トマト」のブランドで流通。両センター合わせて約175万ケース（1ケース4kg）、32億円の実績となりました。



本格的な出荷へ規格の確認、流通の効率化を図る

近年利根沼田地域ではナスの栽培が増加しています。そのため白沢町なす組合の主催により、利根沼田地域全体のナスの目ぞろえ会を開きました。市場関係者が販売情勢や出荷規格について説明し、部会員は実際に収穫されたナスを手に取り形状や色合いなどを確認しました。



品質向上に向け講習会を開催

こめ生産部会は水稻栽培講習会を開き、利根沼田農業事務所の担当者が田植え後の管理のポイントや生育概況、収穫適期について説明しました。また、管内生産者向けの現地講習会も行われ、多くの生産者が参加しました。こめ生産部会では年に数回講習会を開き、水稻の品質向上のため、徹底した管理に努めています。



地域の 活性化

秋の実りに感謝して

収穫の秋を迎え、5会場で農業まつりが盛大に開催されました。もち投げや野菜の詰め放題、牛乳プレゼントなどさまざまなイベントが行われ、多くの来場者で賑わいました。

社会人サッカーをバックアップ！出陣式・開幕戦キャンペーン

JAがスポンサーを務める社会人男子サッカーチームのソルジェンテ群馬は、沼田市内のホテルで出陣式を行いました。また、開幕戦に合わせてファミリーマートJA利根沼田月夜野店はキャンペーンを開催しました。数量限定でうんまい牛乳やレタスの割引販売が行われたほか、JA上津セルフSSとコラボし、ガソリン割引券やファミリーマートのコーヒー無料券の配布も行いました。

職場体験を通じ、働くことや社会人としての基礎を学ぶ

JAでは社会学習の一環として利根沼田管内の中高生を受け入れています。生徒たちは集荷所での野菜の荷受けや米の等級検査、直売所での業務を体験しました。



広報活動 食農教育 職員教育

親子で楽しく農業体験

J Aでは食農教育の一環として、年3回親子農業体験を開催しています。群馬テレビ「J Aみどりの風」の収録も行われ、リポーターと一緒に収穫や種まきを体験しました。収穫物の一部は、利根保健生活協同組合が主催するフードドライブ活動や子ども食堂にも提供されました。



少年学童軟式野球大会 — J A群馬杯 —

地域の子どもたちを応援するとともに、球場へ横断幕を掲げ、J Aイメージ向上とJ A米の消費拡大のため、毎年参加賞や副賞として地元の米を贈っています。



農産物検査員鑑定会及び研修会

農産物検査員の検査技術の向上と検査員の情報交換を目的に研修を重ね、研鑽を積んでいきます。



広報誌・広報誌コミュニティ版

地域農業の魅力や活動を伝え、組合員と地域住民のつながりを深めるとともに、情報共有や理解の醸成を図るため、情報発信しています。

青年部・女性部 活動

球技大会で活動を活性化

青年部は親善ソフトボール大会を開き、6支部 60人が参加しました。大会を通して部員同士の親睦を深め、青年部活動の活性化を図りました。また、優勝したチームは県大会へ出場しました。



稲作体験を通し農業を広める

食農教育活動として、青年部の指導で田植え教室を開催。田植え体験を通し、児童らが農業や自然に興味を持つきっかけをつくりました。



文化展で活動発表

「第18回 J A利根沼田女性部文化展～『家の光』愛読者のつどい～」を開き、支部発表が行われ、会場いっぱい女性部員の作品が並びました。記念講演会では、落語で学ぶ終活「三途の川の渡り方」と題した落語と講演が行われました。



部員同士の親睦深める

女性部は研修交流会を開催し、161人が参加しました。研修会では睡眠セミナーが行われ、交流会では複数の支部が合同になるよう席を割り振り、部員同士の親睦を深めました。



対話運動の展開

管内各地で開かれる座談会で意見交換

座談会は、より多くの地域の声を受け取ることを目的に組合員のニーズを直接聞く貴重な機会として開催されます。組合員のためのJ Aであるべく、活発な意見交換が行われました。

目標を掲げ自己改革を進める

第6期中期3カ年計画として対話を通じた不断の自己改革目標を掲げています。生産者からの意見を直接聞くことで、農業者の所得増大や農業生産の拡大、地域の活性化を目指し一丸となって邁進しています。

公式SNSで広くスピーディに発信

地域農業の魅力発信や信頼構築、若年層との交流を通じて、J Aの価値や役割を広く伝えるため、LINE・Instagram・Facebookなどの公式アカウントを運営しています。

公式アカウント 友だち募集中！

LINE 官農NEWS



Instagram JA 利根沼田



Facebook JA 利根沼田



LINE JA利根沼田農産物直売所



LINE JA 利根沼田農産物直売所 食彩の森



LINE ファミリーマート JA 利根沼田 月夜野店



LINE JA SS

LINEクーポンでお得に給油
ガソリン・軽油が 2円/ℓ 割引！



JA利根沼田 自己改革行程表(数値編)抜粋 令和7年度 第3四半期実績（11月末）

農業者の所得増大・農業生産の拡大

実施事項		目標とする指標	令和 7 年度		取組状況
対象者	売上増加・コスト削減効果【想定】		目標値	第 3 四半期実績	
販売先ニーズに応えた強化品目野菜の取引の拡大を通じた売上増加		強化品目野菜 取引数量	トマト 7,000 t	トマト 7,015 t	面積拡大への訪問推進活動を実施しました。 大手量販店で利根沼田フェアを開催しました。 規格・品質統一に向け、選果選別の強化に取り組みました。
中核的担い手～多様な担い手	トマト1kg あたり 315 円 枝豆 1kg あたり 910 円		枝 豆 350 t	枝 豆 322 t 1kg 当たり 1,132 円	
銘柄集約肥料の取扱拡大を通じたコスト削減		銘柄集約肥料 取扱数量	19,000 袋	17,060 袋	令和 7 年 11 月 5 日から 12 月 16 日にかけて、推奨肥料 8 銘柄のうち 1 品目について早期特別価格販売を行いました。
全ての農業者	1 袋あたり 600 円程度				
農業の箱割引品目の拡大を通じたコスト削減		箱割引対象品目数	40 品目	36 品目	夏季に、レタス・ほうれん草の適用のある品目を箱割引品目に追加し、キャンペーンを実施しました。
全ての農業者	50 円程度／1 点				

青果物目標

項目	目標とする指標	令和 7 年度		取組状況
		目標値	第 3 四半期実績	
販売品取扱高の拡大（米麦、畜産を除く）	販売品取扱高	11,751 百万円	11,906 百万円	市場流通の有利性を生かし、契約的販売の拡大に取り組みました。 大手量販店で利根沼田フェアを開催しました。

地域の活性化

実施事項	目標とする指標	令和 7 年度		取組状況
		目標値	第 3 四半期実績	
農業振興の応援団の拡大	意思確認書の提出人数	60 人以上	71 人	事業利用を通じて准組合員加入時に農業やＪＡの概要等を説明し、地域農業への理解を促しました。
親子農業体験の開催（春、夏、秋の 3 回実施）	参加者延べ人数（親子）	70 人以上	114 人	親子農業体験を春、夏、秋と 3 回実施し、延べ 114 人の親子が参加して農や食への理解を深めました。

経営基盤の確立・強化

実施事項	目標とする指標	令和 7 年度		取組状況
		目標値	第 3 四半期実績	
適正な手数料率による販売手数料と施設利用料の確保	販売手数料率 予冷費 コンテナ使用料	目標とする指標の 策定	令和 5 年度より 販売手数料を 3.5%で実施	目標とする販売実績（指標）を目指し、収益増に努めています。
新施設により南部地区の統合と各集荷所のハブ化を行い集出荷機能改善と品質の均一化を図り有利販売に繋げると共に業務及び輸送の効率化を図る（8 集荷所を 6 集荷所に統合）	再編集荷場	8 拠点 (再編計画決定)	8 拠点	南部地区 3 支部にて生産者説明会を開催しました。 新集荷所の規模や図面等について検討を進めています。

対話・意思反映

項 目	令和 7 年度		取組状況
	目標値	第 3 四半期実績	
組合員とのふれあい訪問・対話（人数）	9,000 人以上	6,531 人	地域ふれあい係を中心に、日々の訪問活動の中で組合員との接点を強化し、対話に努めました。
准組合員個別モニター（広報モニター）	60 人以上	60 人	モニターを増やし 60 名を選定し広報誌の配布等、訪問活動による対話を実施しました。
准組合員アンケート（人数）	年 1 回 50 人以上	0 回 0 人	個別モニターに対して 12 月にアンケートを実施し、准組合員からの意見を聴取する予定です。